

山形方式節電

取組み事例集

～できるところから実践～

VOL.1 山形県地球温暖化対策課

企業・事業所の皆様へ

自らの努力による使用電力量の削減

オフィス(官公署含む)、工場、店舗共通

照明

< 運用の改善 >

人のいない場所の消灯の徹底

照明の間引き

窓側・廊下等の全消灯

昼休みの消灯の徹底

看板、ショーウィンドウ、庭園等の装飾照明の消灯

昼間の男子トイレの消灯

終業時の一斉消灯

フロアでの輪番消灯

照明点灯時間の短縮

オフィススペース、オフィス組織・人員の統合

< 機材の改善 >

電球のLEDへの切替え

IT技術による制御化

反射板の設置

人感センサーの導入

エアコン・空調機等

< 運用の改善 >

冷房温度の引き上げ、空調管理の厳密化

エアコンの停止、共用部のエアコンの停止

定時後の空調の停止

昼休みのエアコン停止

省エネ型エアコンの導入

室内温度を下げ、扇風機を活用

換気回数、湿度条件の見直し

フィルターの清掃などエアコンの検査

オフィススペース、オフィス組織・人員の統合

クールビズの強化（「節電ビズ」、Tシャツ、ポロシャツの着用可）

< 機材の改善 >

間欠運転機の導入

IT技術による制御化

ガス冷房の導入

遮熱シート、ブラインドの活用

エレベータ等

間引き運転

利用の自粛（階段利用の奨励（2up3downは階段で））

「ちょっと待って」の相乗り利用

エスカレータの停止

OA機器

プリンター、コピー機等の必要最小限のもの以外は電源オフ削減

コピー、プリンターの量を必要最小限化

パソコンの離席時の電源オフ

パソコンをバッテリーで駆動する時間の設定

待機電力抑制、コンセント外し

パソコンのスタンバイモードの設定

サーバー機器の移転、外部委託

省エネ型OA機器の導入

操業時間・形態・場所

就業時間の一時間前倒し等のシフト

ノー残業デーの設定

早期（定時）退社の徹底

自宅勤務の推進・制度の導入

営業部門の直行・直帰

休日・夏期休暇

土日の振替営業

祝祭日等の休日、夏期への振替（10月～12月を7月～9月に）

夏期休暇前後の連続休暇取得奨励

夏期休暇の計画的取得による休暇取得者の分散化

有給休暇取得の奨励

休暇の夏期への集中取得の奨励

フロア毎の輪番休日

その他

便座ヒーター・温水の停止

エアータオルの停止

節水の推進

給湯・給茶器の稼働時間制限・停止

冷蔵庫の温度の調整・使用停止

自動販売機の停止

受付自動ドアの停止（常時開放）

受付ロビーのBGM、ビデオ演奏の停止・時間短縮

鑑賞池の水循環ポンプの停止

地下駐車場を使用せず、隣接駐車場を利用し、ファン・蛍光灯・機械式駐車場の使用を削減

地下駐車場・電気室・機械室等の給排気ファンの停止

喫煙室の使用中止（空気清浄機の運転停止）

立体駐車場設備の稼働抑制

イントラネットにおいて、節電策、効果の公表による見える化

貼り紙、掲示板等での節電の呼びかけ

工場

操業時間・場所

生産活動の土日へのシフト

生産活動の夜間・早朝へのシフト

夏期休暇のシフト（一般とずらし、8月後半に）

ラインごとの輪番操業

グループ企業での輪番操業

サマータイムの実施

前倒し生産・在庫積み増しによるピーク時生産の削減

定期修理期間を夏期に集中

生産活動に係る運用改善

試験設備の稼働時間帯変更

生産性向上による操業時間短縮

使用電力が大きい機器・作業の一部停止・ピーク時からのシフト（溶接・塗装コンプレッサー・冷凍機・冷却機・冷却水・加工設備・塗装機・乾燥機・抄紙機・コンベア・梱包設備）

電力を動力源としない機器への変更（電動式エアコンプレッサーをエンジン式エアコンプレッサーに、空調機を電気式からガス式に）

排水処理、空き箱洗浄等の工程を夜間にシフト

冷房倉庫の設定温度の見直し

バッテリー型フォークリフトのピーク時間外充電

創エネ等、その他

< 創エネ等 >

自家発電機の活用及び導入・レンタル

蓄電池の活用

コージェネのフル活用

冷熱の夜間蓄熱

< その他 >

屋上散水

頂上熱気抜き穴開け

ルーフファンの間引き

電力需給契約における協力

職場レイアウトの変更による冷房効率が悪い建物の冷房中止

屋上への遮熱塗装

研究所

電力需要ピーク時を避けた実験の計画的実施

塗装炉、塗装ブース（廃棄設備）、振動台実験、実験用廃棄ファンの稼働制限・延期

試験装置のブレーカーオフ

試験室管理温度範囲の緩和

実験動物の購入抑制、動物の集約化による動物管理の電力削減

実験用排気ファンの使用抑制

店舗

看板、ショーウィンドウの消灯

店舗内照明の間引き

高効率反射板の導入

店舗の輪番操業（銀行ATM等）

ショーの開催制限

ご家庭の皆様へ

ご家庭での努力による使用電力量の削減

エアコン・空調器等

エアコンを使用する前に、扇子や扇風機を活用するとともに、一枚薄着する。
エアコンを使用する場合は、室内の設定温度は28℃を目安にする。
各部屋同時に使用せず、一部屋にまとめて過ごすよう心がける。
新たに購入する際は、省エネ型エアコンを選択する。
フィルターの清掃などエアコンのメンテナンスを心がける。
窓に遮熱シートやブラインドを装着する。

照明

不在の部屋や廊下を消灯する。
白熱電球は、電球型蛍光灯やLED・有機EL照明に交換する。
屋外照明、門灯は、防犯、安全上の支障がない範囲で消灯する。
各部屋同時に使用せず、一部屋にまとめて過ごすよう心がける。

冷蔵庫

冷蔵庫の設定温度を、「中」又は「低」に設定する。
必要のない開閉はせず、すみやかに閉める。
冷蔵庫と壁の隙間を広げる。
冷蔵庫には、物を詰めすぎないようにする。

洗濯機

洗濯はできるだけまとめて行ない、洗濯機の利用回数を減らす。
乾燥機は極力使用せず、天日による乾燥とする。
(早朝や夜間の使用による近隣への配慮をしつつ、) 洗濯機・乾燥機の使用時間をピークの時間帯を外して使用する。

待機時消費電力

テレビやパソコン、オーディオ機器などの電化製品を使用しない時は、電源をオフにする。

長時間使用しない電気機器は、コンセントを抜く。

ライフスタイル

早寝早起により、電力の使用を控える。

家族は、なるべくまとまって過ごすよう心がける。

その他

便座ヒーター・温水を停止する。

家族が見える位置に節電目標を掲示する。

新築やリフォームに際しては、太陽光発電装置や太陽熱温水器を設置する。

毎月、電気料金請求書記載の前年度の電力使用量と比較し、チェックする。